

Yondoco

中学生・高校生版 第7号 2010.07発行

図書館おすすめの本

()内は、分類です

『少年少女飛行倶楽部』(カノ)

加納朋子/著 文芸春秋



飛行クラブとは一。

空を飛ぶことを目的とし、あくまで「自分自身が」「何の力も借りず」「自由に飛行する」こと。

クラブ活動が必修の中学校に入学した海月(みづき)。幼馴染みの樹絵里に引きずられ飛行クラブに入部することに。

部長(通称カミサマ)と変人ぞろいの部員たちとともに、海月は、はたして空を飛べるのか!?

不真面目で可笑しくてジンとくる爆笑中学生飛行クラブ物語。



『靴を売るシンデレラ』(N/バウ)

ジョン・パウアー/著 灰島かり/訳
小学館

「良い靴」を売るのが大好きなジョナは、グラッドストーン靴店で数え切れないほどの靴を売ってきた。

ある日、その腕をみこんだ女社長の運転手に抜擢され、乗ったこともないキャデラックで旅をすることに…。

『哲学のおやつ うつくしいとみにくい』(15)

ブリジット・ラベ/ミシェル・ピュエシュ/著
西川葉澄/訳

汐文社

「うつくしい」も「みにくい」も、ふだんは口に出しにくい言葉です。でも、心の中で思うことはあるよね。どんな時にそういうふうに思ったかな?

ほんとうのうつくしさ、みにくさについて考えてみよう。



『壊れても仏像』(718)

飯泉太子宗/著
白水社

平安時代と江戸時代につくられた仏像、どちらが壊れやすいのか。

驚くような仏像の修理方法から、変装している仏像などを紹介。もう一度、仏像をじっくり拝観したくなる一冊。





『リバウンド』(Nウオ)
E・ウォルターズ／著 小梨直／訳 福音館書店

長くてどうしようもない最低最悪の一年だった。こんなじゃダメだ！今年はやちゃんとやるはずだった。それなのに…。
新学期そうそう停学になりそうだ。理由はけんか。相手は転校生。
そいつ車椅子に乗っていたんだ。



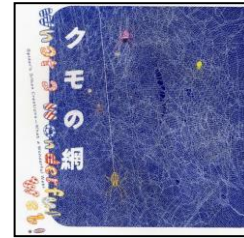
『虫はごちそう!』(38)
野中健一／著 小峰書店

私たちは虫を食べている!?
粒の形をして表面がピカピカしているチョコレートは、なぜ手にべとつかない?
実は、虫の成分が役立っているのだ。
自分が住んでいるところではどんな虫が食べられてきたのだろう。世界各地でおいしく食べられている虫や調理方法も紹介。



『あの空をおぼえてる』(Nケア)
ジャネット・リー・ケアリー／著 浅尾敦則／訳 ポプラ社

事故で妹を失い、自身も大怪我を負った少年ウィルは、死んだ妹に手紙を書き続け、妹の死と向き合う。
やがて、現実から目を背けていた両親、そしてウィル自身をも絶望から立ち直らせていく、心温まる物語。



『クモの網』(485)
船曳和代／新海明／著 INAX出版

クモの糸。狙う獲物によって、また狩の仕方によって変化に富んだ網をはりめぐらせる。それは、まるでレース編みのよう。
こんなにすばらしい模様なら、壊さずにながめてみてはいかが?



『漂流物』(Eヒ)
デイヴィッド・ウィズナー／著 BL出版

少年が浜辺で遊んでいると大きな波がやってきた。その波がさった後には、一台の古いカメラが…。
中のフィルムを現像すると、そこには驚くような世界が写っていた。



『粘菌～驚くべき生命力の謎～』(473)
松本淳／解説 伊沢正名／写真 誠堂新光社

粘菌てなんだろう? 動物? それとも植物?
「風の谷のナウシカ」のナウシカはこの粘菌を採取・観察していた。
不思議な魅力を鮮明にとらえた250点余りにおよぶカラー写真。



『反対の美術館』(723) カワイ出版
カロリーヌ・デノエット／著 諸川春樹／訳・解説

「からっぽ」のかごと果物が「いっぱい」入っているかごの絵。「短い」と「長い」や「昼」と「夜」などの対比を絵画でみてみよう。
ゴッホ、ルノアール等、36人の名画を紹介。



『エリザベスは本の虫』(Eエ) アスラン書房
サラ・スチュワート／著 デイビッド・スモール／絵 福本友美子／訳

「本の虫」とは、“読書が大好きな人のこと”です。
この本に出てくる女の人、メアリー・エリザベスの「本の虫」っぷりはすごい!!



『自分を「美しく」見せる技術』(770)
藤原竜也×中村勘太郎×高橋大輔／著 扶桑社

俳優「藤原竜也」、歌舞伎役者「中村勘太郎」、フィギュアスケーター「高橋大輔」。
同世代3人が、演じること、努力すること、個性を大事にすることなど、表現者としての自分と、役者／アスリート以外の普段の自分について語った本。



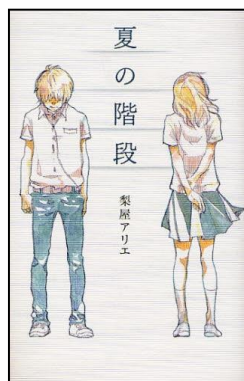
『クローバー』(ナカ)
中西翠／著 講談社

毎週木曜日、シーンとした中学校の図書室で、四つ葉のクローバーを探して、隠して、もう一度見つけるうちに、初恋も見つかります。
でも、その恋は、友だちの…。



『にっぽんタワーめぐり』(523) イカロス出版

タワーに歴史あり!
東京タワーから東京スカイツリー。身近なところでは大阪の通天閣に京都タワー。
北海道から沖縄まで全国各地にある展望タワーを紹介したちょっとマニアックな本。
その種類や構造・役割も様々。



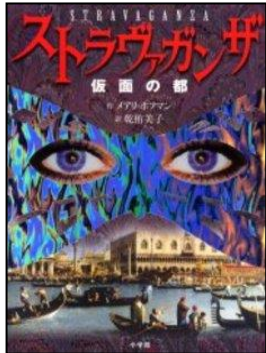
『夏の階段』(ナシ) 梨屋アリエ／著 ポプラ社

希望に胸ふくらませて入学した高校。でも、新しいクラスメイトとは、まだまだビミョーな関係で…。
その中で葛藤を繰り返しながら進んで行く、5人それぞれの甘く切ない物語。



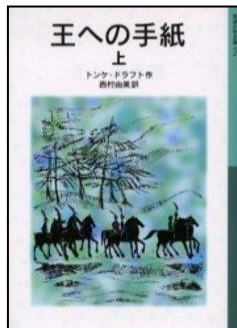
『ソロモンと奇妙な患者(クランケ)たち』
(B645)
野村潤一郎／著 筑摩書房

動物にとっての幸せとは…。
白スカンクやヘビ、ワニなどの、さまざまな動物に身も心もささげ、自らを“犬人間”と称し、動物のように生きる熱血獣医によるエッセイ。
命との向き合い方、極上の動物ライフの送り方等を、ちょっと個性的な視点で語る。



『ストラヴァガンザ』(Nホフ)
メアリ・ホフマン／作 乾侑美子／訳 小学館

ストラヴァガンザ＝時空をこえ別世界へ旅すること。21世紀ロンドンに住む少年ルシアンは、ふとしたことから時空をこえ異世界へ旅立つ。そこで出会う不思議な人々との大冒険。
3作続けてどうぞ。



『王への手紙 上・下』(BNドラ)
トンケ・ドラフト／著 西村由美／訳 岩波書店

礼拝堂でティウリは騎士になるための最終試験に挑んでいた。外からの声に耳を傾けてはいけないという規則があったが「神の御名において、開けよ」という声に、扉を開けてしまい、見知らぬ男から重大な手紙を託される。
手紙を狙う赤い騎士やスパイから逃れ使命を果たすことができるのか？

利用案内

- ◆大和郡山市に在住・在学・在勤の方は、利用者カードを作ることができます。
- ◆5冊まで、2週間借りられます。
- ◆貸出中の本の予約、所蔵していない本のリクエストができます。
- ◆司書が調べ物のアシストをします。探している本が見つからないときは、お気軽にお尋ねください。

図書館のホームページを使って

- ◇パスワードの登録→貸出中の本の予約
借りている本の延長(予約が入っている場合は不可)
- ◇メールアドレスを登録→予約本の取置をメールでお知らせ

【PC】 <http://www.yamatokoriyama-library.jp/>
【携帯】 <http://www.yamatokoriyama-library.jp/toshoi/>

【開館時間】

土曜日 9:30～21:00 土曜日以外 9:30～19:00

【休館日】

毎週火曜日、第1、第3水曜日(祝日にあたる場合は翌日休館)
年末年始 特別整理期間

【大和郡山市立図書館】

大和郡山市北郡山町211-3 やまと郡山城ホール内
Tel: 0743-55-6600